

水害時の衛生対策のための消毒方法

台風や大雨などの水害発生により浸水が起きた場合、下水道や、し尿槽の汚水が逆流し、家屋の汚染が起きる場合があります。汚染によって、細菌やカビの繁殖、害虫の発生のような不衛生な状態が起こり、感染症(細菌性の下痢など)や食中毒が発生しやすい状況になります。

感染症のまん延防止・衛生管理のためには、まず家屋等の汚染部分を十分に洗浄し汚れを取り除き、その後に消毒が必要となります。

汚水浸水時の衛生対策

家屋などが浸水した場合、以下のように洗浄と衛生対策を行います

①汚水が床上まで浸水した場合

- ・水が引いたあと、濡れた畳や家の中の不要なものを片づける。
- ・汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流す。または雑巾で水拭きをする。
- ・食器類や調理器具などは、水洗いし汚れをとる。
- ・食器棚や冷蔵庫など、食品・食事に関わる物の汚れをとる。

②家の周囲や床下浸水の場合

- ・汚泥や不要物を片づける。
- ・庭木や外壁に付いた泥を水で十分に洗い流す。
- ・床下換気口のごみを取り除き、床下の風通しを良くする。
- ・床下の汚泥をスコップや流水で取り除く。
- ・床下の水気を拭き取り、換気扇などを使い強制的に換気し乾燥させる。

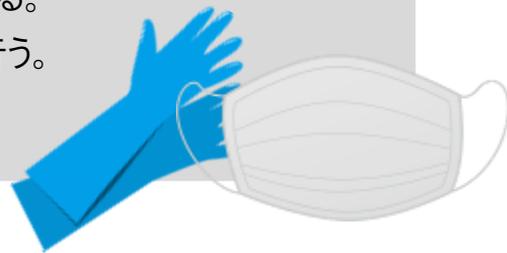
③感染症予防・食中毒の予防

- ・手洗いを行う。特に調理や食事の前、掃除やトイレの後は、その都度石けんと流水で十分に手洗いを行う。
- ・水に浸かった食品は廃棄する。
- ・体調の変化や体の異常を感じた場合には、速やかに医療機関を受診する。



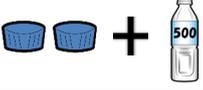
消毒時の注意事項

- ・消毒薬の使用は、薬剤にある取扱い説明・注意事項に従って行い、長そで、長ズボン、ゴム手袋、マスク、メガネなどの着用により、皮膚や目を守る。
- ・屋内での消毒は、窓やドアを開け、十分な換気のもとに行う。
- ・他の消毒薬、洗剤との混合や併用をしない。



具体的な消毒方法

参考：日本環境感染学会「一般家屋における洪水・浸水など水害時の衛生対策と消毒方法」

消毒対象	使用する消毒薬	消毒液の作成	使用方法
手指	・石けんと流水 ・手指消毒用アルコール	—	①目に見える汚れを水で洗う ②石けんを使用し指先～手首まで洗い、流水で流す
食器類 調理台 流し 浴槽	次亜塩素酸ナトリウム (ハイター、ブリーチなど市販の物、濃度5%)	約0.02%に希釈 例：ペットボトルのフタ1杯(5ml)の消毒薬を1ℓの水に入れる 	①食器用洗剤(浴槽は浴槽用洗剤)と水で汚れを洗い流す ②作成した消毒液に5分間浸す、または消毒液を染み込ませた布で拭く ③その後水洗い、水拭きし、よく乾燥させる
	10%塩化ベンザルコニウム液	0.1%に希釈 例：ペットボトルのフタ1杯(5ml)の消毒薬を500mlの水に入れる 	①食器用洗剤と水で汚れを洗い流す ※石けんが残っていると消毒効果が薄まるためしっかりと洗い流す ②よく乾燥させ、消毒液を浸した布でよく拭く ③再度よく乾燥させる
	熱湯消毒 (食器のみ)	—	①食器用洗剤と水で汚れを洗い流す ②80℃の熱湯に10分間浸す ③よく乾燥させる
家具 床 壁	次亜塩素酸ナトリウム (ハイター、ブリーチなど市販の物、濃度5%)	0.1%に希釈する 例：ペットボトルのフタ2杯(10ml)の消毒薬を500mlの水に入れる 	①泥などの汚れを洗い流す、または水拭きし十分に乾燥させる ②消毒液に浸した布などで拭く
	※色褪せや腐食がある場合 10%塩化ベンザルコニウム液	0.1%に希釈 例：ペットボトルのフタ1杯(5ml)の消毒薬を500mlの水に入れる 	
屋外	消石灰 ※消石灰は、水との接触で発熱する。また、皮膚につくとやけどするので注意が必要。目に入らないように注意	そのまま用いる	①家の周囲や床下などにある不要なものや汚泥などを片付ける ②水気のない状態にし、まんべんなく表面が白く覆われる程度の量(300g/m ²)を散布する ③散布した消石灰が飛散しないよう軽く水をまいて、表面の消石灰をかためる

【問い合わせ】

帯広市保健福祉部健康推進課

〒080-0808 帯広市東8条南13丁目1番地 保健福祉センター

電話：0155-25-9720、0155-25-9721 FAX：0155-25-7445

